



芸人・ジャーナリスト! おしどりマコ&ケン講演会in世田谷

演題：にっこり笑って原発事故を徹底究明！東電記者会見500回

講師：おしどりマコ 公益社団法人自由報道協会（FPAJ）理事

& ケン 針金アート師

とき：2017年11月5日（日）

午後1時半～4時半

ばしょ：鳥山区民センター集会室

資料代：500円

世田谷区教育
委員会 後援



吉本興業の夫婦漫才のコンビ、マコさん に迫れないと一念発起。

は、鳥取大学医学部生命学科を“脱大学” ネット上では「放射脳の虚報」「芸人の
し、チンドン屋に入りアコーディオンを担 くせにジャーナリスト気取り」とバッシン
当。きっかけは学生時代

に経験した阪神淡路大震
災。被災地の惨状を見て、
「医学では人は救えない、
お笑いこそが癒しだ」と
その道に。

ケンさんはパントマイ
ム出身で針金細工師。200
3年にコンビを結成。

東京に引っ越して3か月目に東日本
大震災に。地震はしょうがない、原発
は…?、よく分からぬ。そこで原発
のことを知ることに夢中になった。所
属業界では異端児として仲良しを失
ったが、新しい仲良しもできた。

芸で鍛えた“突っ込み”と、医学部
という経歴から健康被害への関心も高
く、それまでの東電記者会見では真実



グを受けた。
しかし事実はその真逆。
非常に客観的で精緻な調
査に基づいている。



その結果、2016年の
「平和・協同ジャーナリ
スト基金奨励賞」受賞、
海外でもドイツの「核戦
争防止国際医師会議」に

ジャーナリストとして招かれるなど海
外でも高い評価を得ている。

そして今年2月5日、日テレの深夜
放送で、「NNNドキュメント'17お
笑い芸人VS原発事故マコ&ケンの原発
取材2000日」として放映された。



今回の講演では、マコさん達がこれ
まで解明した数々の新事実を明らかに
します。乞うご期待！

福島被災地の視察・交流を行いました

期待を胸に

6月2日付のニュースNo.17で会員の皆様に参加を呼びかけた福島視察・交流について、6名の方の参加を得、8月19日から20日にかけて、視察・交流を行いました。

3月に学習会の講師を引き受けさせていただいた、いわき市労連事務局長の管家さんが帰途につくまで、運転と学習会のお世話や現地案内、ガイドを行っていただきました。

本当に至れりつくせりの2日間で、大変効率的な視察・交流ができました。

現地の温かい歓迎と協力に心から感謝する次第です。

学習会で現状を知る

最初にいわき教育会館で学習会を行いました。

まず、訴訟団の金井さんから、避難生活の現状やふるさ

と楢葉町への思い、被災者しかわからないであろう心の葛藤などのお話をしていただきました。

訴訟団の一人ひとりが厳しい状況で戦っておられることを思うと、一層支援を強めなければと思いました。

次に、いわき市議会議員（共産党）の渡辺さんから、原発労働者への支援活動の状況についてお話を伺いました。

労働者に支援の品物を届けることには流石に東電も建屋内で行うことを認めました。

更に危険手当のピンハネ問題を知らせたり、医療相談を行うなど、労働者からも密かに歓迎されています。

最後にいわき短大講師の能戸さんから、「ボランティアへのボランティア活動」のお話をいただきました。ボランティアの方々自身がいろいろ

んな悩みを持ち、その相談を受ける活動は大事な活動だと改めて思いました。

高線量の残る現地視察

翌日は朝から国道6号電を北上し、各地を視察しました。訪問先は久ノ浜、広野町、Jビレッジ、楢葉町コンパクトタウン、天神岬、粗末な仮設住宅、立派な町役場、現在の常磐線終着駅の竜田駅、富岡町の海岸沿いから見る福島第2原発、浪江町に向かう車からの下車や窓開けが許されない国道では放射能線量計はウナギ登り、請戸地区から見る福島第1原発、ここから再び南下して、桜並木で有名な夜の森、警官2人が殉職したパトカーの残骸展示、そして最後に宝鏡寺の早川住職を訪ねて40分ほど話をお聞きして帰途につきました。

文化祭への誘い

日時：10月14日10時～17時
15日 10時～15時

当会、憲法9条を愛する鳥山地域の会、鳥山原水協の3団体は共同で実行委員会を持ち、展示等について打ち合わせを行っています。

当会は、上記でお知らせした福島視察・交流の結果を展示します。ビデオ上映も行いますので、会員皆様のご来場をお待ちしております。

公正な判決を求める署名へのご協力

福島視察・交流を行った際、DVD「絶望から希望へ」、書籍「最先端技術の粋をつくした原発を支える労働」、「福島原発避難者訴訟原告団 意見陳述集全篇」を紹介していました。合わせて、現在裁判を闘っているので、「公正な判決を求める署名」への協力を要請されました。

署名簿は同封しますのでご協力をお願いします。署名は直接、取扱先にお送りいただくか当会事務局メンバーにお渡しください。

なお、DVD、書籍も大変参考になりますので、ご希望の方はお申し出ください。